

【経営組織の役割：環境変化への対応に向けて】

1. 経営組織の意味：業務推進の効率化と有効化を求めて編成
2. 医療法の改正、診療報酬の改定に伴う業務内容やシステムの高度化への対応
3. 機能分化と連携に向けた対応：院内のコミュニケーションが基本
4. 経営組織化の目的：適性な人材の配置により効率的・効果的な業務の推進と高度化

1. 経営組織の意味

組織の最小単位は、家族とされています。他人同士の男女が将来の夢を語り合い、それに向けて共に歩むことを決意し、家庭生活を送り始めます。夫婦は、将来の夢に向けて目標を共有化し、その実現を目指してそれぞれが役割を果たすよう行動します。当初夫婦2人であった家庭という組織は、やがて子供が出来て3人、4人の組織へと拡大します。また、社会環境の変化や生活そのものの変化によって、生活内容も次第に変化していきます。それと同時に、夫婦の役割（肉体的・精神的他）にも変化が起き、子供の役割が次第に重くなってきます。

経営組織も家族という組織と全くかわりはありません。企業が掲げる目標を達成するために人為的に経営組織が編成されます。企業を取り巻く環境は年々変化しているため、同じ目標であってもより早く達成するためには、経営組織を再編しなければならないこともあります。

したがって、経営組織とは、創業者が掲げた経営理念や経営目標をより早く効率的に実現するため、人為的に人材を配置したものとすることができます。そう考えると、環境が変化している中、いつまでも同じ組織で対応すること等あり得ません。経営目標の効率的実現に向けた対応を考え、最良の経営組織となるよう編成が行われる必要があるのです。



2. 医療法等改正と診療報酬の改定

平成25年8月に施行された「社会保障制度改革と税の一体改革」に伴い、医療法改正が行われようとしています。

概要は、2025年の人口構成を見据えた医療体制を前提にしたあるべき姿を実現するための改正であり、平成26年から平成29年にかけて、医療に関する法律を改正し規制を設ける事等が予定されています。

しかし、平成26年4月の診療報酬改定では、医療法改正よりも先に「社会保障制度と税の一体改革」の考え方に沿った改定内容となっており、医療機関の改革は待ったなしで行われる状況となっています。今回の診療報酬改定では、医療機能の分化と連携を前提に、各医療機関の役割と機能を明確化すると同時に、他医療機関との連携を促す方向に改定されています。しかも、連携出来る医療機関にも規制が強くなります。つまり、地域における自医療機関の機能を明確化し、その役割を担うよう規制強化が行われるのです。厚生行政が示す方向を選択して実現していくように舵が取りが始まったと言えます。



3. 機能分化と連携への対応

厚生行政は、医療機関が進むべき方向を示唆していますが、自医療機関をどの方向に進めるは、経営者の判断に任せることとなります。しかし、一旦進むべき方向性が決まれば、経営者と管理職及び職員が一体となって改革を行いながら進むこととなります。その際に重要なことは、進むべき方向性に向けて院内の組織編成が行えることです。つまり、組織を構築する職員一人ひとりが経営者の考え方を理解し、その基で職員が各自の役割を認識し、組織に貢献できるよう協働するようになることです。



例えば、7対1看護基準の一般病院から院内院外の医療環境を判断して療養病床に届出を変更する場合、その決定内容や院内における課題は、経営者や看護部長、事務部長から告げられると思います。その時、職員自身がその意味を理解して、具体的に自分が何をすれば良いのかを認識し、実行出来るようにすることが重要になります。このような組織になるためには、組織の意義や組織の役割を常日頃から職員に理解させていることが重要であり、意思疎通のとれる組織であることが重要となります。つまり、組織を構成する組織員がそれぞれの職位や役割を理解して対応でき、同じベクトルに向かうことのできる組織環境にしておくことが重要だということになります。そのためには組織内にコミュニケーションが浸透していることが基本です。

4. 組織化の目的

企業が組織化を行う目的は、目標を達成するために日常業務をよりスムーズに効率よく行えるよう構築したものであり、そのためには必要な能力を持った人材を適所に配置することとなります。したがって、必要とする組織編成を行うためには、経営理念に基づく組織の方針や目標の実現に向けて、現在の職員の能力から判断してその能力を最大限に発揮できるよう人材を適切に配置することとなります。さらに、より高度な組織となるためには、高度な人材が必要なので、人材育成の目的と組織編成の目的は一致することとなります。

このように、組織編成を行う目的は、現時点の業務内容をより高度化するためであり、当然のこととして、医療法の改正や診療報酬の改定及び社会環境の変化や患者のニーズの変化や多様化によって再編成することもあります



5. まとめ

企業が組織化を行う目的は、現在の業務内容や業務システムを高度化し、よりよい業務を行うためです。したがって、現在の業務内容や業務システムに満足することなく、より高度化を目指した業務を明確にし、そのために現在の人材をどのように配置し、どのような組織を構築するかを検討が企業経営にとって重要なことだと言えます。

Q1. 現在の組織は最強の組織ですか？